

## 小島信昭県会議員、本木茂県会議員との面談 《録音の許可が頂けなかったのでメモによる文字起し》

2018年2月8日 13時35分～14時45分@埼玉県議会自民党特別応接室

田中： 政務活動費について、民進党等は裁判係争中。自民党の分は調査中につき、不明点を質問したい。

田中： 政務活動費の扱いはどうなっているか？

小島： 報告書・領収書の目的通りに渡している。

田中： 年度初めはどうしているか？

中村： 4月15日は前払いしているのではないか？

小島： 報告書・領収書が無ければ出さない。

田中： 月額5万円ずつ控除されているのではないか？

小島： それはない。控除は平成21年まであったのかもしれない。

田中： 600万円に満たない分の取り扱いは？

小島： 会派で共通経費がかかる。

田中： 管理はだれが？

小島： 県議団で管理している。

田中： 600万円をオーバーした政務活動費はどうしているのか？

小島： オーバーしては渡していない。

中村： 事務所の人件費の出し方が議員によって差があるのはなぜか？各議員のお金の使い方をどのようにチェックしているのか？

小島： 小島は支部長だから、事務所費を半分出している。各議員には政務活動費を正しく使うという誓約書を書かせている。

田中： 車のリースの控えはあるか？

小島： 出させているから、あるはず。

田中： 刷新の会はクレジット契約なので、内容が不明になっている。可視化できるようにすべきでは？また、事務所の契約は「議員団」の名目になっているので、調べざるを得ない。半分の議員が監査請求の対象になる。領収書を自らオープンにしてもらえませんか。

田中： 領収書をネットに上げることに反対しているのは自民党と公明党だと聞いているので、何とかすべき。

小島： 今後そうしたいと考えている。

田中： TMコーポレーションについて。

平成27年だけで682万円の支出があり、そのうち488万円が3月29日～31日の三日間に集中している。領収書の番号がバラバラにしてあるのは隠ぺい工作？

田村議員の手書きの領収書もあり、正規の領収書ではないと思われるものもある。

事務所には看板もなく、人もいなかった。

社長は田村議員の義理の弟で、調理店をやっているから印刷は分からない人ではないか？

小島： 印刷会社とはメールでやり取りをしている。成果物もきちんと届いている。会社の実態は評価できない。

田中：議員の関わっている会社ですよ。

小島：印刷会社の相見積もりを取っている。

田中：自民党の全員の印刷物がプリンターでプリントアウトしたもの。ゲラ刷り、見本ではないか。

小島：きちんと印刷されている。誤解が無い添付物を提出したい。

田中：人件費について。

- ・小林議長の事務所は実態が無い。水道メーターが動いていない。
- ・ある議員は電気代がほぼゼロ。三人の人件費も出ている。
- ・人件費を計上しておきながら、人件費を払わない議員もいる。正当な政務活動費の使われ方ではない。政務活動費の7割が人件費と言うこともあるのに。

中村：沢田元議員の収支報告書が6カ月修正されていません。いつまで放置するのか？

小島：沢田氏の弁護人をとおす事、警察に相談すれば、「起訴するまで、捜査に差し支えるから」と言われ保留状態である。気持ちは一刻も早く、収支報告書の訂正をしたい。

中村：領収書の五要件のうち、名前の無いものが平成27年度だけで自民党20枚、公明党50枚もあった。これは、議員、党の経理、県職員がみな見落とした結果だ。あまりに多すぎるのではないか？

小島：間違い無い様にやっているつもりだが、間違いがあった時は速やかに訂正する。出す本人だけでなく見るこちら側も徹底する。

田中：議員団体名が主体の領収書を無くしてもらいたい。このままでは富山市議会のようになるのではないか。2月中に7名、合計で20名以上の監査請求をせざるを得ない。

田中(久)：剣道のカレンダーについては、毎日新聞の指摘の通り。一般市民に配っているのでは？

小島：不特定多数には配らないように確認した。後援会のみ配布している。

田中(久)：練習は？場所は？

小島：けが人が出てから、ここ数年は練習をしていない。浦和警察の武道場と上尾の武道場を使っていた。批判も出ているが、武道を振興してもらってありがたいという声も出ている。

田中(久)：他に部活動は？

小島：ゴルフとグラウンドゴルフ。グラウンドゴルフは高齢者の健康増進に資すると考える。